

タテヤマンが伝える

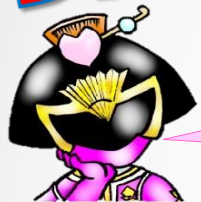


5月20日 酒田まつり

け継がれる心意気



なるほど！5月20日は昔でいう申(さる)の日にあたるって事か！でもなんで申(さる)の日にこだわっているのだろう？



酒田まつりって毎年5月20日にやっているけど、どうして5月20日なのかしら？



日枝神社（山王社）の「神使」が「申」だからだと言われているよ。社殿前面には「申」が建物の屋根を担っているかのように彫られていて、羽州以外ではなかなか見られない珍しいものなんだ。



「酒田まつり」に名称が変わる前は「山王まつり」という名称だったのは知っているよね？その「山王まつり」がもともと、酒田の町の産土神（うぶすながみ、鎮守様のこと）である上・下日枝神社の祭礼を古来、旧暦の4月中申日を御縁日として行われていたんだ。でも太陽暦への変更に伴って、現在の5月20日が例祭日となり、「酒田まつり」に名称が変わった後も、そのまま続いているんだ。



猿？もしかしてこの間山居倉庫酒田夢の倶楽「華の館」でみた亀傘鉾の前にいた猿も関係しているのかしら？



その通り！本間光丘が作った亀傘鉾の猿も、日枝神社の神使である「猿」が亀傘鉾を案内するために、羽織を着て先頭に立っているんだ。

次回は酒田まつり（山王まつり）に大きな影響を与えた「本間光丘」を教えよう！

